

会員数	93,670	(前月比) +	35
手配り	29,044	(前月比) +	46
郵送	8,920	(前月比) -	42
会員世帯数	40,701	(9/30現在) [前月比 24増]	
協同基金到達額	2,506,527,000円	(9/30現在) [前月比 4,412,000増]	
協同基金出資者数	22,133名	(9/30現在)	



発行  
健康友の会 みみはら  
民医連 本部事務局組織部  
機関紙編集委員会  
〒590-0821  
堺市堺区大仙西町6丁184-2  
Tel.072-244-8061  
Fax.072-244-7860

1部30円

# 2023 秋の月間

# 健康チャレンジ スタート集会開催



司会の今井さん(左) 西岡さん(右)

みんなでフレイル予防体操

防」にも取り組みます。健康友の会みみはら江戸会長の開会あいさつに続き、同仁会森専務の報告では、今の「戦争する国」への流れを止め、戦争しない国であり続けるために、共同組織と共に取り組みを進める決意が



北出トレーナー



鳳支部宮崎さん

述べられました。さらに、75歳以降は「後期高齢者」ではなく、人生に深みが増して光り輝く「光輝(コウキ)高齢者」で、まだまだ運動とまちづくりの主役であり、若い世代と一緒に頑張られることへの期待が述べられました。共同組織からの活動報告は、健

最後に、大阪みなみ医療生協今口専務が、「職員と力を合わせて強化月間を頑張ろう」と締めくくりました。「光輝(コウキ)世代として、もうひとふんばりしたい」「支部の活動報告に感動しました」「フレイル予防の実地トレーニング楽しかった」「自分のところでも実践したい」などの感想が寄せられました。

## 楽しい友の会の取り組みで、おもいっきり「仲間ふやし」!



江戸会長

「楽しい友の会の取り組みで、おもいっきり仲間ふやし」を合言葉に、新しい仲間を増やして「安心して住み続けられる、ふれあい支えあいのまちづくり」をすすめます。「おおさかまるフレイル予

秋の強化月間と健康チャレンジのスタート集会が、10月5日、同仁会、健康友の会みみはら、大阪みなみ医療福祉生協と合同で、堺総合福祉会館で開催されました。南ブロックで一堂に会しての月間スタート集会は久しぶり。2023年は「楽しい友の会の取り組みで、おもいっきり仲間ふやし」を合言葉に、新しい仲間を増やして「安心して住み続けられる、ふれあい支えあいのまちづくり」をすすめます。「おおさかまるフレイル予

### 10月5日 2220人が参加



森専務の報告



今口専務



大阪みなみ袋井さん

第2部では、健康運動指導士の同仁会北出トレーナーから、健康友の会みみはらで取り組んできた「フレイル予防体操教室」の取り組みの報告と、筋活・フレイル予防の実演指導。北出さんの軽妙な語り口と、実技指導に会場は一体となり、楽しく体と頭を動かしました。

## 聴診器

朝ドラ「らんまん」が爽やかに終わって、主人公の生家は造り酒屋、当時酒税は地租を抜き国税の1位になった。出荷時ではなく製造時課税の造り酒屋に酒蔵にあっては実質増税、その先は日露戦争だった▼2020年度以後国の税収トップは消費税である。堤未果「シヨックドクトリン」は新自由主義の政権下では経済の市場任せと規制緩和、民営化、医療・社会保障削減はセットだ、と。岸田首相は軍事費43兆円をぶち上げ増税と公共予算削減分が財源となる。政府は医療費の増加で国の財政が持たない、大企業も福利厚生費用は負担だと言いつつ日本の皆保険制度を崩そうと様々な手を打ってきた▼経済同友会は消費税を19%まで上げよと主張する経済団体で、代表幹事の新浪サントリー社長は9月末の記者クラブでの会見で保険は公的から民間でと発言した。政府と企業にとって医療費は損なのだろうか。医療で病气から回復した人は仕事に復帰し収入を得、遊び、学び、買い物をして税金を払う。医療・社会保障は新たな価値を生む経済そのものだ(大門美紀史)「米國が示すように私的医療保険は平均寿命に寄与しない。公的皆保険を続け現行1.3割負担をなくし真の保険としよう。(和)